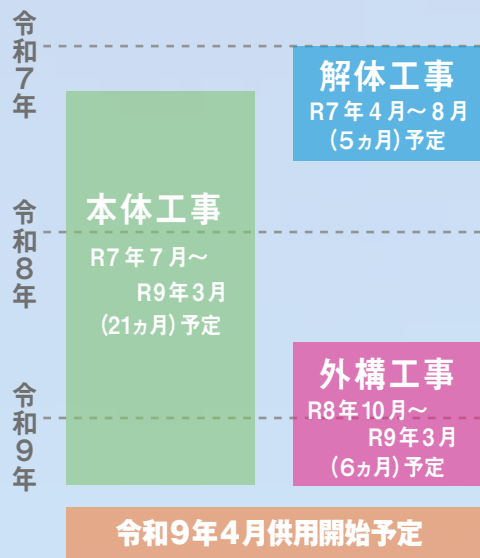




↑建設予定地は旧方城分館・方城体育館周辺。令和7年4月、第一歩となる既存施設解体がスタートしました。

建設スケジュール



施設データ

- 構造：鉄筋コンクリート造2階建て
- 建設地：現方城体育館裏駐車場
- 建築面積：4444.32㎡
- 延床面積：5967.08㎡ (屋外デッキ含む)
- コート配置：3面同時利用可能
※最大バスケットボール2面
+ バレーボール1面
- ★ 収容人数：2000席
※1階移動観覧席+2階固定席+立見席
- ★ 付帯設備：空調設備、音響設備
大型モニター、通信設備
- ★ その他設備：トレーニングルーム
ウォーキングスペース
(1周約200m)

★部分については、すべて地方創生に関する国の補助金を活用して整備予定。

《社会教育施設統廃合》



健康とまちづくりの拠点、新たなシンボル施設誕生へ

総合体育館 建設開始。

来年3月、合併から20年を迎える福智町。旧町単位で設置された施設は老朽化が進み、対策が必要となる中、動き出した社会教育施設の統廃合。今月号では、計画の中心である総合体育館建設の概要をお伝えします。

選択と集中による適正化へ 老朽化進む3体育館統廃合

福智町合併以来、「人口20万人都市に匹敵する」と指摘されてきた公共施設の多さは長年の課題でした。これまでは旧町単位の施設を維持してきましたが、老朽化が進み耐用年数も目前に迫る中、抜本的な

対策が必要となつていきます。そこで社会教育施設の今後の在り方を検討するため、公民館・体育館の利用者、社会教育関係団体、教育関係者からなる「社会教育施設等統廃合検討委員会」を令和3年度に設置。議論を重ね、公民館・体育館ともに一ヶ所に統合する方針をまとめ、町長に意見書として提出されました。この意見書を基に具体的な検討を進め、体育館は一ヶ所に統合し方城地区に新築、公民館は既存施設を活用して統合する方針を決定しました。特に総合体育館は対象の3体育館を統合せずに全て建て替えた場合、集約化に比べより多くの建

設費が必要となるだけでなく、有利に借入が可能となる過疎債をはじめとする国の助成制度が受けられなくなり、町に大きな負担を強いることとなります。今後は施設の選択と集中により財政負担を最小限に軽減しながら、持続に向けた適切な施設の維持管理を進めていく方針です。下げ止まりの見えない人口減少の中、今後は施設の整備だけでなく、関係人口を増加させるための賑わいと活力を生み出す拠点施設が必要となります。この体育館を「まちづくりのシンボル施設」として位置づけ、健康増進と地方創生の拠点として、最大限に活用していきます。

